

シャローム shalom

No.159
2021.夏号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



コロナ禍での外来の取り組み

いながき ようこ
外来師長 稲垣 洋子

2020年2月頃から、新型コロナウイルス感染が蔓延する事態となり、京都府からの要請を受け当院でも「帰国者・接触者外来」、「発熱外来」を設置し、4階西病棟がコロナ患者受け入れ病棟として対応を開始し約1年が経過しました。現在も新型コロナウイルス感染を疑い、計り知れない不安を抱えて受診される患者さんに対し、私達は真摯に向き合い発熱等の身体症状に対するケアの提供と、適切に診察と検査を受けて頂けるよう努めております。

新型コロナウイルス感染の情勢は常に変化しており、その都度、感染対策チームと協議し発熱外来の環境を整えて参りました。2020年12月からは増設したプレハブ内において検査課の協力を得ながら、

安全に検体採取を行っております。また、気候が厳しい季節は玄関でトリアージを行うスタッフの健康を守ることや、院内感染を起こさないよう常に協議・対応をしておりました。

新型コロナワクチン接種も始まりましたが、様々な情報が錯綜しております。随時、ホームページにて情報を提供しつつ、患者さんには安心して接種して頂けるよう尽力して参ります。

面会制限や付き添い制限など、患者さんや利用者さんにご理解やご協力を得ながら、この1年を運営できました。まだ気を緩めることなく、丁寧な看護を心がけて参りたいと思います。

News

ホームページ「お知らせ」について

当院ホームページの「お知らせ」ページでは、様々なイベントや患者さんにお伝えしたいこと等の情報を発信しております。現在、皆様のご協力とご理解により、病院玄関での「トリアージ」や「面会禁止」などを継続できておりますが、今後行政からの指導や当院の運営変更がございましたら、随時「お知らせ」にて皆様にお伝えさせていただきます。ご来院の際などはこまめに「お知らせ」をご確認いただき、お役立てくださいますようお願い申し上げます。

なお、最近のトピックスとして新型コロナワクチン接種について随時情報をお届けしております。どうぞ最新情報をご確認くださいませ。



Relay Column

バプテスト老健 レーコラム

vol.5

当施設でのスキンケアについて

かわしま こずえ
看護師 川島 梢



皮膚がトラブルを起こす原因には、基礎疾患やそれに伴う治療薬によって皮膚が脆弱になる場合、認知機能や身体機能の低下によって皮膚の清潔を保てなくなる場合、加齢による皮膚のバリア機能の低下などがあります。

白癬菌が原因の「みずむし」は抗真菌薬を使っても洗浄が不十分であると菌が増殖して皮膚にトラブルをおこすことがあります。これは菌がタンパク質を栄養源として増殖するため、毎日の入浴が困難な方は注意が必要です。そこで、当施設では白癬菌による皮膚状態の悪化を認めたら、抗真菌成分を含む泡石鹸で洗浄しています。丁寧なケアを続けると見違える程きれいになり、その効果が実感出来ます。稀に皮膚の亀裂やびらんから白癬菌などの細菌が侵入して蜂窩織炎になる場合もあるので早めの対処が大切です。入浴介助時には介護士が注意深く皮膚の状態の観察を行ない、看護師も足を乾燥させて異常がないか確認し、爪切りや保湿を行います。皮膚トラブルが起きた時は直ぐに医師や薬剤師に相談できるのも当施設の強みです。スキンケアにチームで取り組み、生活の質を向上できるように努めていきたいと思っております。

薬でつなぐ ちょつといい話

vol.32 お薬の正しい飲み方について

なからい みさこ
薬剤部 半井 美紗子



皆さんはお薬をどのようにして飲んでますか？お薬を飲むときは、一般的にはコップ一杯(約150mL)の水またはぬるま湯が良いとされています。飲水量が少ない場合、食道でお薬がとどまり炎症を引き起こすことや、またお薬が溶けきらずに効果が十分に発揮しなくなることもあります。これに対して口腔内崩壊錠(OD錠)は少量の水分で溶ける工夫をした製剤で、飲水量で効果に差がありません。お薬の名前にOD錠とついているのがそうです。さらにまれですが飲水量を制限(120mL以下)しなければならないお薬もあります。このように飲水量に注意点があるお薬は渡すときに薬剤師が説明します。

水以外の飲み物での服用も注意が必要です。例えば牛乳は抗生物質や骨粗鬆症などのお薬と一緒に飲むことで、お薬の吸収や効果を弱めてしまうことがあります。またアルコールはお薬の吸収や効果に影響し、副作用が起る恐れもあります。さらにジュース、コーヒーなどもお薬の吸収や効果に影響を与えることがあります。飲み物なら何でもよい、というわけにはいかないため、コップ一杯の水またはぬるま湯を心がけましょう。



健康・栄養

第42回 ～食こぼれ話～ 熱中症を予防しましょう!



管理栄養士
かねこ みどり
金子 緑



熱中症とは…

高温多湿な環境に体が適応できず引き起こされる体の不調のことです。気温が高い環境で水分補給を行わないと、脱水による血液濃縮のために循環不全を起こし、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、酸素や栄養素の運搬や体温調節機能がうまく働かないことにより発症します。

厚生労働省のホームページには「**健康のため水を飲もう**」推進運動というものがあります。目覚めの一杯、寝る前の一杯。しっかり水分、元気な毎日!と書かれています。

人の体は60%が水分です。体重60kgの人は36kgが水分ということになります。赤ちゃんは70%、幼児は65%が水分です。つまり、子供の方が脱水になりやすいということです。

水分が少なくなる(脱水)とどうなるの?



脱水は体重減少率を目安にします。

例) 体重60kgの人なら1%失う…は0.6kgの体重減少があった場合です

1%失う…のどの渴きが出てきます。大量の汗

2%失う…強いのどの渴き、めまい、吐き気、重苦しい、ぼんやりする、尿量減少、食欲減退

4%失う…全身脱力感、イライラする、動きの鈍り、皮膚の紅潮、精神不安定、無関心

6%失う…頭痛、手足の震え、ふらつき、体温上昇、脈拍・呼吸の上昇

8%失う…幻覚、呼吸困難、めまい、チアノーゼ、言語不明瞭、疲労困ぱい

10%失う…筋肉のけいれん、循環不全、血液減少、舌の膨張・しびれ、不眠、失神

20%失う…生命の危機

出典:水分損失率と現れる脱水諸症状の関係、日本体育協会、スポーツと栄養

また水分が失われると、血液濃度が高くなり、いわゆるドロドロの血液になり、血行不全により、脳梗塞や心筋梗塞など誘発する可能性もあります。

参照:厚生労働省 ホームページ

<水分を飲むポイント>

- 1) 水分は少量×回数を分けて、定期的にとりましょう。3食をきちんととれると食事量で約0.8～1Lとれますので、飲料水として1～1.2L飲みましょう。「こまめに飲みましょう」と言われます。それは胃が吸収できる水分の量は200～250ml程度だからです。1回に飲む量はコップ1杯とし、できれば20～30分に1回は飲みたいものです。
- 2) 就寝時、入浴時はたくさん汗をかき、水分が不足しがちになります。就寝前、起床時、入浴の前後、さらに運動の前後、運動中には特に水分摂取を心がけましょう。
- 3) 高齢者はもともと体内の水分保持量が減っています。(成人が60%に対して50%程度に減っています)さらに、食事摂取量が減っている時には食事からの水分摂取が減るので、特に注意しましょう。また夜間ひん尿を気にして水分を取らず我慢している方もおられます。注意しましょう。
- 4) 一般的なスポーツドリンクは糖分が多いものもあるので、糖尿病の方や子供に飲料水の代わりに飲ませるのはよくありません。気をつけましょう。
- 5) アルコールには利尿作用があります。水分補給として飲んでしまうと、1.1倍程度尿量が増えます。したがって、かえって脱水となり、血液がドロドロになりますので気を付けましょう。
- 6) 水分で誤嚥の可能性のある方は、水にとろみをつけたり、ゼリーなどにするのもよいでしょう。
- 7) 心臓や腎臓の悪い方は、医師の指導を受けましょう。

今よりあと2杯水分を飲んで、暑い夏を乗り切りましょう!

聖書の小道

第49回

「目の微笑み」

群衆が飼い主のいない

羊のように弱りはて、

打ちひしがれているのを見て、

深く憐れまれた。

マタイによる福音書
9章36節

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン 宮川 裕美子



マスクによって顔の大部分が隠されている状態で人と会い、関わるのが当たり前となった生活の中で、「目」が見ること、語ることを意識するようになりました。

そこで、イエスの「目」に目を留めてみますと、イエスはお自分が見たことに、心を大きく動かしておられることがわかります。イエスは群衆を目にした時、ただそこに「大勢の人」を見られたのではありません。その人々の生活の様子や、生活環境の中で受けているであろう身体的、精神的、社会的、霊的苦痛を感じ取られたのでした。

相手を見つめ、言葉には語られていないことも感じ、受け止め、共感する一今のマスク生活の中では、そのような温かい目が、微笑みの役割を果たしてくれるのではないのでしょうか。

心に残る医療団の歴史 ～記憶と記録～

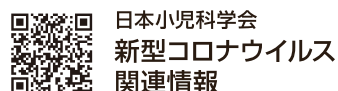
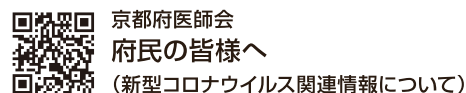
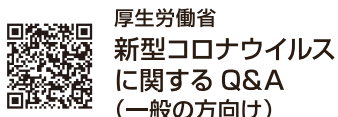
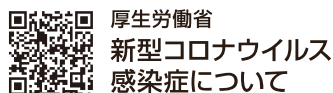
医療団は今年の7月12日で開院66年になります。牧師室では、永年勤続者を中心に、働き人の心に残る出来事や理念実践にまつわるエピソードの記録を始めました。働き人の目が見てきた出来事や人物について、改めて知ったことや、これからも大切にしたいこと、多くの人の心に残っている出来事を、毎月発行の「牧師室だより」にてご紹介しています。

牧師室からの
おしらせ

お知らせ 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスに関する情報源としましては、以下の政府や学会など公的機関のHPが参考になります。

※しばしば更新されていますので、情報につきましては、最新のバージョンであるか、ご自身でご確認をお願いします。



イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2021.3.1-5.31) 敬称略

中川 敬博 日本基督教団室町教会 紫野教会CS教会学校
高椋 道子 神戸西バプテスト教会 山田 則代 山本 朝子
日本バプテスト連盟

編集 後記

この編集後記を綴っている7月上旬のこと。オリンピックの話題がメディアを賑わせています。まだまだ日本ではエンターテインメントやスポーツ、外食や娯楽が制限を求められています。オリンピック期間中、様々な扱いが変わるようなことがあれば、医療者としてオリンピック「観戦」が、オリンピック「感染」にならないことを切に願うばかりです。オリンピック観戦の際はくれぐれも感染対策を忘れずに楽しみましょう！



日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.159 2021年7月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 尼川 龍一 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <http://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト在宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/about/section/chiiki/chiiki-renkei/kyotaku.html>